

藤棚新聞



第57号
2017年(平成29年)
12月28日
偶数月発行
フリーペーパー

第2地区の合言葉は「二言挨拶」



第2地区連合町内会自治会長に就任された西岡 茂さんをお願いをして、これからの第2地区の運営について寄稿をいただきました。

第2地区は10町内会自治会で構成されています。会議で意見を述べ合い、地区行事はもとより各町内会自治会も活発に活動し、運営しています。第2地区の合言葉は二言挨拶です。学援隊による子供の見守り活動も「おはようございます。いってらっしゃい。」から始まります。その言葉を浸透させ顔の見える関係づくりを目指しています。こういった地道な活動を通して、幼児虐待やいじめ問題などにいち早く気づけるように地域の大人たちでアンテナをはって子供達を見守っています。

比較的に平坦な地に恵まれ区役所を中心に位置する第2地区ですが、道幅が狭い地域もあります。そのような地域では独自に消火活動や避難訓練を年に二回開催し、地域の団結力、防災意識を高めています。戸部公園では毎朝ラジオ体操が行われ、体操後には有志の女性たちがコーラスの練習をし、朝から健康的に楽しんでいます。また商店街には、お年寄りや子育て中のママさん達が気軽に立ち寄れるライブステーションのような「駅」があります。西区社会福祉協議会から補助金を頂き、地区社協や民児協、地域のボランティアの方々が中心になって運営しています。子供のおむつ替えや買い物途中の一休みに使えるので、他の地区の方も是非休憩しにお立ち寄りください。

(地区社協：第2地区社会福祉協議会、民児協：第2地区民生委員児童委員協議会)

気になるお店シリーズ

手毬すし



西前中央商店会にあるチェーン店、手毬すしさんは、昭和50年代にオープンし、5年前に先代から引き継いだ「大将」こと、斎藤幸司さん含め3名で切り盛りしています。

随所に工夫を凝らしたメニューの中にある、マグロ、イカ、エビ、タコ、サーモンなど13種類の具材を小さく角切りして彩りよく散らした『ばらちらし』は小鉢、みそ汁、フルーツがついて700円とお手頃です。持ち帰りだと550円と格安。

アルコールの好きな方には、飲み放題に刺身もしくははにぎり寿司がついて2500円。珍しいところでは刻みわさびを巻いた海苔巻きは酒の肴に合いそうです。また、木曜日はマ

グロ半額も人気の一つです。

寿司屋なのに「ソフトクリームもやっていますよー」と元気のいい女性従業員の声。その意外性に心意気を感じました。なお、「縁日やお祭りの開催日には青空寿司をやらせていただいています」とのことでした。

定休日水曜日 電話 324-2167

この町
この人

弾き語りのJAZZ

コーケンボーさん

今回はジャズの弾き語りを演奏するコーケンボーさんを訪ねました。場所は障害者就労支援施設、生活創造空間「にし」のロビーです。ここでは毎週のようにランチコンサートが開かれて、歌、ピアノ、ギターなどいろいろなジャンルの演奏が行われています。この日の演奏がコーケンボーさんです。少し変わった形のギターを自在に操って奏でる音はまるでフォークギターを弾いているようです。最初の曲はバラード調の「デスパラード」、とても心地よい声に聞こえました。実は以前、歌を習ってみたいと選んだのがジャズで、自分にとても合い、長く続けられると思いレッスンを重ねました。その時覚えた発声が生きているのでしょう。3曲目の「シング、シング、シング」はテレビの商業曲でテンポが良く手拍子で盛り上がりました。



普段の演奏活動では、藤沢の歌声喫茶でも音楽伴奏をしているコーケンボーさんは西区在住とのこと、ここ生活創造空間「にし」では2か月に1度出演しています。「会場が盛り上がりがない演奏会の場合はどうしますか？」という、ちょっと失礼な問いにも「淡々と演奏するだけです。たとえギターの弦が切れても、アカペラで歌えるくらいにしっかりと声を出していきたい」と力強く答えてくれました。最後は一足早い「ホワイトクリスマス」でした。

「にし」でのコンサートの問い合わせは 250-6506 へ

西区民まつり 11/5

戸部公園と西前小学校を会場にして、ことしも西区民まつりが開催されました。



子どもに大人気のフワフワ

『精神障がいについて当事者から学ぶ』—— にしとも広場



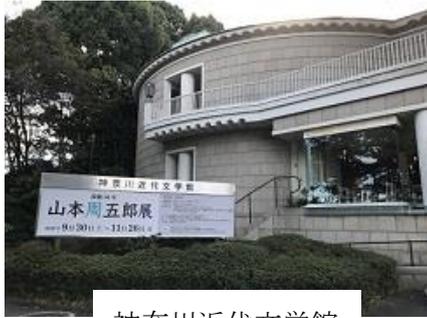
市民活動やボランティア活動をしている人たちを対象にして、にしとも広場では3回にわたる「活動に役立つ 知っておきたいシリーズ」を開催しています。12月12日はその第1回目、『精神障がいについて当事者から学ぶ』というテーマで、生活支援センター西の利用者さんと職員を講師に招きました。

トークセッションでは、当事者から日常生活での不安や悩み、就労・仕事の事、助けとなる人や場所などの身近な15の話題

についてさまざまな意見が出されました。どれも大切なことで、聴講の人たちは熱心に聴き入っていました。話を進めた生活支援センター施設長の永瀬 誠さんは、「精神障がいの方もそうでない方も、いっしょに自然体でお付き合いをしましょう」とまとめました。

西前小学校出身の文豪「山本周五郎展」

神奈川県近代文学館



神奈川県近代文学館

港の見える丘公園にある神奈川県近代文学館で、9月30日から11月26日の間、山本周五郎没後50年を記念して企画展「山本周五郎展」が開催されました。山本周五郎は1903年に山梨県で生まれ、小学生1年生の時に久保町に転居してきて、1916年に横浜市立尋常西前小学校（現在の西前小学校）を卒業。小説家を志したきっかけは、この西前小学校時代の恩師による影響だそうです。

代表作は『樅ノ木は残った』(1954-58年)『赤ひげ診療譚』(1958年)『季節のない街』(1962年)など。それぞれの人生をただひた

むきに生きる登場人物のリアルな描写の作風は、読者の心に共感を呼びます。山本周五郎の著書は、西前小学校コミュニティハウスでも閲覧することができます。

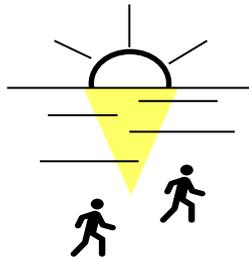
元旦にラジオ体操

来年も初日の出を見ながらの、元旦ラジオ体操会が、戸部公園とみなとみらいで開催されます。

この元旦ラジオ体操会は、第二地区連合町内会自治会主催、第二地区スポーツ推進委員ならびに戸部公園ラジオ体操協会主管です。

—行程—

元旦6時に戸部公園で集合・出発 → 杉山神社参拝 → MM広場にて、初日の出遥拝 → 7時 初日の出に向かってラジオ体操 → お神酒 振る舞い お開き



へそまつり



11/3~5



たくさんの神輿と楽しいイベントが出演したほか、商店街の通りにはいろいろなお店が出て、大変に賑わいました。

ふじなちゃんのさんぽみち

野毛山の配水池



今回は、前回の野毛山動物園からそのまま野毛のつり橋を渡って野毛山公園までやってきました。写真の左右にある2つのドームを見て何だかおわかりでしょうか？

1887年日本最初の近代水道が創設されて、野毛山に浄水場が作られました。40キロメートル以上も離れた相模川上流で取られた水がここまで送られてきたのです。しかし、関東大震災で壊滅し、現在では浄水場はありません。2つのドームは、その後地下に整備された配水池です。ここには私たちが毎日使用している水が西ヶ谷浄水

場から送られてきます。また、横浜の近代水道の父といわれ、設計・工事を手がけた英国人技師のヘンリー・スペンサー・パーマーの胸像が隣にあります。その向かいには、大きな白い建物があり、大地震で停電した時でも飲み水が出るようにするための発電装置が入っているそうです。

私たちにとって大切な水。散歩をしながら、先人の歴史に触れてみてはいかがでしょうか。



西前
コミハ
文化祭

11月
26日



展示、演技発表や食品販売などが実施されました。



戸部ケアまつり 11月26日

開設15周年を迎えて、開始時間前から多くのお客さまで賑わいました。



Eメール: fujidananp@jcom.zaq.ne.jp
FAX: 045-895-0081

投句—当季雑詠で一人2句まで—、氏名、連絡先を記載して。次回締切は一月二十日。巻頭句には粗品を進呈。

蓑虫や吾にもありし父恋う日
秋の夕港の船の灯が砕け
町の灯へ案山子は一人称で立つ
門に来て大蠅螂の動かざる
夢で会うあなたは新酒飲んでいた
秋夜長LEDにとりかえて
己の頭皮霜月の灯がともる

《寸評》

佐藤幸華
新川博子
小野元夫
近藤廣子
笹川紀久子
中澤明子
後藤瑞枝

藤棚俳壇・選者—三村風彦

年越そばは松鶴で

自家製そば
お持ち帰り用
もごさいます



店内ではお酒、ビール、焼酎なども楽しめます。おつまみも多数取り揃えています

貸切宴会8名様～14名様迄(要予約2日前迄)
¥2000～(飲物別 応相談)
営業時間 11:30～21:00
西区久保町28-2
TEL & FAX: 045-231-7723 定休日月曜日



西横浜で創業28年!!

初心者、Wワーク、65歳以上 大歓迎

日動警備横浜株式会社
男女アルバイト募集

昼勤 10,000円 夜勤 11,880円

交通誘導警備 / 店舗駐車場ご案内 他

☎ 045-252-9292(24時間)
横浜市西区浜松町5-6

お気軽にお問い合わせください。

地元で35年! 親身な指導!

- 起業・会社設立
- 決算・申告・記帳代行
- 相続・贈与・事業承継

相談
無料

寺田会計事務所

公認会計士 寺田誠一 西区中央2-13-2
伊勢新ビル2F
税理士 寺田悟史 ☎324-0510

検索 寺田会計事務所 横浜

藤棚新聞ではただいま広告を募集中です。いっしょに活動してくれるボランティアも募集しています。

【発行】藤棚新聞 〒247-0009 横浜市栄区鍛冶ヶ谷 2-54-C801

【TEL】090-9683-6099 【FAX】045-895-0081 【メール】fujidananp@jcom.zaq.ne.jp